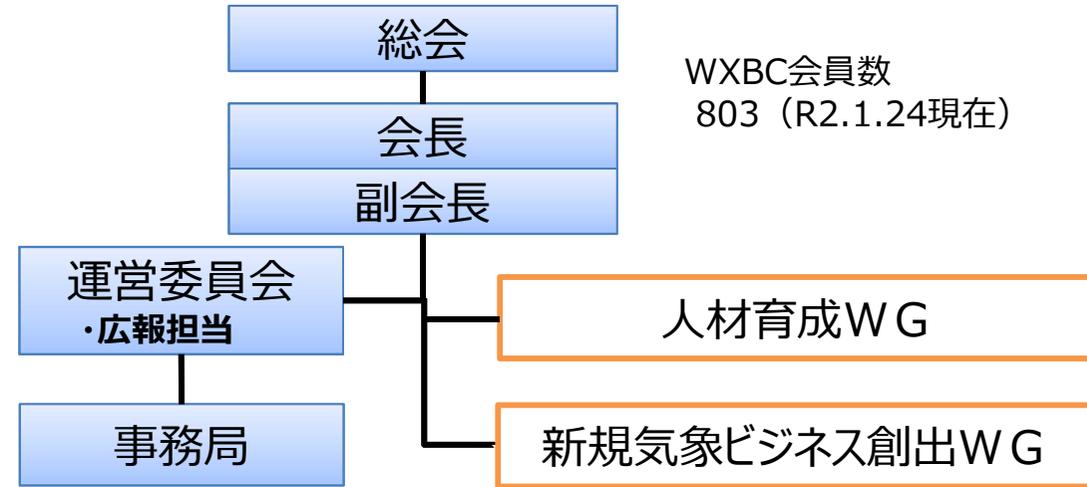


1. 運営体制

- 今年度と同様、総会、運営委員会、人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、広報担当の体制を継続する。
- 会長、副会長の任期はWXBC規約により2年、運営委員の任期はWXBC細則により2年であることから、現会長、副会長、運営委員には2年目として引き続きご担当いただく。
- 現広報担当にも引き続きご担当いただく。



2. 活動内容

人材育成WGの取り組み

- ①気象データアナリスト育成のための検討
- ②WXBCセミナーの開催（東京及び地方都市）＜新規気象ビジネス創出WGと連携＞
- ③テクノロジー研修の開催（東京及び地方都市）気象データ分析チャレンジ！、AIチャレンジ！
- ④地方における人材育成の推進

連携

新規気象ビジネス創出WGの取り組み

- ①ニーズ側企業での関心を高める企業間マッチングの促進
- ②気象データの利活用事例集の拡充
- ③関連する団体との連携強化
- ④WXBCセミナーの開催（東京及び地方都市）＜人材育成WGと連携＞

連携して効果的に実施

関係機関、団体等との連携

- ①関係省庁、地方公共団体、関係機関、団体と連携してWXBCの活動を効果的に実施

各種活動の普及啓発

- ①気象ビジネスフォーラムをWXBCの総会と併せて開催し、WXBCの活動の成果を効果的にアピール
- ②活動に関する成果を様々な手段を用いて積極的に普及する

2020年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

人材育成WGの取り組み①（詳細）

1) 活動目標：

知見・技術の習得・討議の場を提供し、気象ビジネスの創出および市場拡大のための人材を育成する

2) 過去3年間の活動実績

（1年目）気象データを理解しよう！（2年目）気象データに触ってみよう！（3年目）気象データを使ってみよう！

上記をスローガンとして、以下の活動を企画・実施

WXBCセミナー： 32回 2,209名（東京：12回 1,179名 地方都市：20回 1,030名）

テクノロジー研修：12回 345名（気象データ分析チャレンジ！9回 256名 AIチャレンジ！3回 89名）

WG内勉強会：気象ビジネスへの取り組み紹介(2~3年目) 29社

気象xIoT勉強会(2年目：プロトタイプデモ開発、3年目：報告書作成) 15名

サブWG（気象データ利用のための環境整備）：12名

3) 4年目の活動案：

設立4年目を迎え、過去3年の基礎能力を高めるための活動から飛翔し、

「気象データの価値を活かし、気象データを使いこなせる」人材の育成を目指し、下記の取り組みに注力する。

<新規> 気象データアナリスト育成への取り組み（気象データのビジネスへの利活用を推進）

①カリキュラムの検討

②気象データアナリスト養成講座用の研修資料作成（e-Learningを含む）

<継続> 裾野を更に広げるための取り組み（気象データの価値を普及啓発）

①気象データ理解力 & ビジネス課題解決力・発想力の向上を目指して：

ビジネスWGと連携しWXBCセミナー（東京 & 地方）の開催

②IT活用力の向上を目指して：

テクノロジー研修（気象データ分析チャレンジ！の内容拡充、e-Learning化）

（AIチャレンジ！）

4) 4年目の活動スローガン案：「気象データを活かそう！」

気象データのビジネスへの利活用推進を目指して
気象データアナリスト育成
必要な知識・技能の整理、スキルセット&カリキュラム検討・作成



気象データ理解力&IT活用力の向上を目指して
テクノロジー研修
気象データ分析チャレンジ！：アメダス、メッシュ、アンサンブル等
（研修資料の作成～研修開催～資料のブラッシュアップ～研修資料の提供）
e-Learning化の推進
（用途：自習、企業研修、気象データアナリスト養成講座等）
AIチャレンジ！（2019年度版の展開方法について要検討）

気象データ理解力、ビジネス改善力・発想力の裾野拡大を目指して
WXBCセミナー
ビジネスWGとの連携企画で東京開催&地方展開

<新規の取り組み>

全体施策

中長期予報データに関する情報提供 & 研修

- ・WXBCセミナー
（ビジネスWGと連携企画）
- ・テクノロジー研修

気象データアナリスト育成

- ・スキルセット検討
- ・カリキュラム検討
- ・研修資料の作成等

継続活動

WXBCセミナー
@東京 & 地方

ビジネス
課題解決力！
AIチャレンジ！
発想力

<新規の取り組み>

WG内勉強会

グループ別勉強会

アマダス気象データ分析チャレンジ！Excel版(e-Learning)
Python版

気象データ

メッシュ気象データ分析チャレンジ！
（ITエンジニア & 気象予報士向け）

IT活用力

2020年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

人材育成WGの取り組み④ ～全体図～

（朱字：新規の取り組み）

気象データアナリスト育成
裾野を広げる活動

チャレンジ！開催（継続）

・気象データ分析チャレンジ！」

アメダスデータ（Python版）

メッシュデータ、アンサンブルデータ

・e-Learning化

・「AIチャレンジ！」（共催）」

東京開催（継続）

＜ビジネスWGと連携企画＞

WXBC
セミナー

施策検討
& 立案

テクノロジー
研修

地方セミナー（継続）

＜ビジネスWGと連携＞

地方における人材育成
地方展開

（継続）

気象ビジネス
のための
人材育成

・WXBCセミナー企画

・気象データアナリスト&

ビジネスコーディネータ検討

・ユーザーとの意見交換会

WG間
他組織との
連携

グループ別勉強会

WG内
勉強会

サブWG
活動

「気象データアナリスト育成計画」

・スキルセット&カリキュラム検討

・資料作成

新規気象ビジネス創出WGの取り組み（詳細）

新規気象ビジネス創出WGでは、気象データを活用した更なる新規ビジネスの創出・既存ビジネスの強化を目指します。2020年度は以下のとおり、事例集の拡充や、ニーズ企業が一層参画しやすい活動の展開等に取り組みます。

①企業間マッチングの促進

各業界（ニーズ側）での気象データへの関心を高め、市場の拡大に繋げられるようなイベントを開催する

②気象データの利活用事例集の拡充

- ・随時事例を収集し、WEB版事例集にて公開
- ・WXBCの公式Twitter等を通じて広く紹介

③関連する団体との連携強化

- ・各業界のニーズを把握し、ニーズに応じたイベントを開催する
- ・関連する団体が主催するイベントにWXBCとして参加することを検討

④人材育成WGと連携したWXBCセミナーの開催

- ・他のデータとあわせて気象データを有効活用している企業からその成功事例を紹介していただくとともに、参加者の交流会等を実施する。

広報関係（詳細）

WXBCの広報活動に関しては、これまで実施していることの充実を図りつつ、他機関等と連携した活動を積極的に実施していく。

- ① 気象ビジネスフォーラムの開催
 - ・ WXBC総会と併せて開催し、WXBCの活動の成果を効果的にアピール
- ② WXBCホームページ
 - ・ 会員紹介ページの充実
 - ・ WEB事例集等のコンテンツの更なる充実
- ③ WXBCツイッター
 - ・ タイムリーな話題の提供等を継続
- ④ WXBCユーチューブ
 - ・ 掲載する動画の充実（オンライン研修資料の掲載等）
- ⑤ WXBCニュースレター
 - ・ 補助金等の情報については、事前募集の段階から周知する等の工夫を実施
- ⑥ 関係機関と連動した周知活動
 - ・ 関係省庁（総務省、経済産業省、中小企業庁等）と連携した周知活動
 - ・ 商工会議所等と連携した周知活動
- ⑦ 他機関とのイベントと連動したイベントの開催
 - ・ 関連する団体等が主催するイベントと連携した周知活動
 - ・ 関係省庁、地方公共団体等と連携し、補助金やイベントの案内を実施